

海洋物理学の教科書

入門書

- **Introductory Dynamical Oceanography (2nd Edition)**
Pond and Pickard 著
まさに入門書。式を多用せず。実用的。
わかりやすい反面、最近の理論までは含まれていない。
- **Introduction to Physical Oceanography**
George Mellor 著
入門書であるが重要なことは過不足なく一通り網羅されている。
最近の理論までも含めて、基本的な理論の枠組みは説明されている。
- **Introduction to Geophysical Fluid Dynamics : Physical and Numerical Aspects**
Benoit Cushman-Roisin, Jean-Marie Beckers 著
Introductory とあるが、それなりに本格的。
1 節ごとに読みきりなので、興味ある節を読む手もある。
GFD ではあるが、より海洋現象に重心がある。
大改訂されて充実度が増した。ネットで無料で配信しているはず。

本格的教科書

- **Descriptive Physical Oceanography: An Introduction**
L. D. Talley 他著
決定版的な海洋物理の教科書
基本的な必要事項・最新の重要な研究成果がくまなく網羅され、
観測的研究を行う場合には最良の教科書。
力学的研究を行うには下にあるような別の教科書が必要。
- **Geophysical Fluid Dynamics (2nd Edition)**
Pedlosky 著
数式の導出に妥協（飛躍）がない。
数式・理論の美しさを追求。
- **Atmosphere - Ocean Dynamics**
Gill 著
式の展開よりも物理的な解釈がしっかりしている。
大気と海洋の両方を共通の理論で記述。

日本語

- **海洋の物理学 現代地球科学入門シリーズ**
花輪公雄著 共立出版
2017 年に出たばかりの海洋物理の待望の教科書。日本語の教科書としては決定版。
わかりやすく、最新の成果も含めて、重要な項目・テーマがもれなく入っている。
- **海洋の波と流れの科学**
宇野木早苗・久保田雅久著
これも、日本語の海洋物理学の入門的教科書としてわかりやすい。